

音楽教育とハイテク

Music Education and High-technology

鈴木 寛 (兵庫教育大学教授)

ブラウザを活用しよう (8)

★ブラウザ活用の限界

さてブラウザを活用して「教材提示」・「楽曲情報表示」・「演奏再生」等の機能を持たせる例をいくつか事例として紹介してきました。ブラウザというものはHTML形式のファイルを画面表示するためのアプリケーションですから、もともと音楽だけのための機能は弱いのです。まずテキスト形式があり、次に画像がやってきました。そして、今動画や音声ファイルなどがやっと扱えるようになったばかりなのです。ネスケの愛称で親しまれてきたNetscapeは後から登場したInternet Explorer通称IEに圧倒的な力で追い上げられ現在ではもう勝負あったと言う感です。私の大学ではウイルス対策としてネスケを推奨しています。つまり外部からの侵入に対してネスケはIEより強固にできているらしいのです。私は長年ネスケのファンでしたが、最近同じコンピュータ(Mac)上で両方を走らせてみてストレスのないのがIEであることに気が付きました。また、いくつかの機能はIEでは働いてもネスケでは働かないことも確認しました。Microsoftという会社が「office」というアプリケーションにOUTLOOKをはじめとするEXCELやWORD等とセットにIEを付けたことがそもそものはじまりなのです。ロータスや1・2・3等の表計算ソフトはあっという間にEXCELに取って代われ、メール添付の標準ワープロはWORDでないと誰も使えないという状態です。しかし、実際に私はそのことを感謝しています。例えば、新しいコンピュータに今までのアドレス管理データをのせ換えたい時もう一度何百件のデータを打ち込み直す必要は今ではないのです。モバイルのデータとPCのデータは常にシンクロできますから一つのデータをいくつかの環境下で共有できる便利さは何とも言えません。OUTLOOKの「連絡先」のデータはMacでは「書類」というフォルダに入っていますからそれをそのままコピーしますが、ウィンドウズでは表示されないところに隠れています。WindowsXP、や2000では98やMeと違ってApplicationDataの入っているフォルダがWindowsではなくDocuments and Settingsという所になっています。その中の隠しフォルダLocal Settings/Microsoft/outlook/outlook.pstがそのファイルです。これさえ新しいアプリケーションに移入すれば簡単に共通のデータになります。これはデータの規格や書式が共通になっているから可能になるわけで、コンピュータは今大きくUNIX規格とWindows規格、Macintosh、Palm等に分類されますがその大きな違いは命令語(コマンド)を処理するプロセッサの手順の違いであってデータは共通なのです。

Pentiumなどのプロセッサではクロックを上げることで動作速度を上げています。いわば本田のエンジンのような高回転高出力型なのですが、モトローラとIBMが開発したG3やG4は2サイクルエンジンのような方法で作業能力を2倍以上に高めているわけで無理なく高速な動作ができます。

余談になりますが、私が自宅で使っているWindows機は十分にメモリを搭載していても同時に複数のアプリケーションを実行できません。メールソフトを常駐させて待機させていると肝心なときに「アプリケーションに必要なメモリが極端に不足しています」というコメントとともに結局は再起動しないといけない状態に一日に数回見舞われます。遂に頭に来てWindows2000にOSを変更することにしましたが、これがまた大変。マックですと新しいOSの入ったCDをスタートさせるだけでせいぜい15分で新しいOSに更新され、しかも古いアプリケーションやデータはそのまま使えます。ところが、Windowsではまずハードディスクに新しいパーティションを設定し、そこにWindows2000をインストールします。このインストールが何と延々数時間の作業になります。しかも、前のアプリケーションの殆どは新しくインストールしてやらないと動きません。しかしさすがにWindows2000は全然ストレスなく凍り付くことなく動いています。マックの7年以上前のレベルに今やウィンドウズは到達したようです。マックにも有名な「爆弾マーク」はありますが、対処の仕方を忘れるほどたまにしか出ませんし、出ても簡単に直せます。コンピュータに向かってトラブルと戦っている時間と実際に仕事をしている時間の差を考えても、誰もが言うことですが圧倒的にマックの方が仕事や趣味に向いています。しかし、ソニーのベータ規格とVHS規格の関係のように広く普及したものが標準規格ですから、しょうがないですね。

Microsoft社はWindows Media Player以外ではMIDI関係のどのソフトも自社開発していませんのでMicrosoft社独自のMIDIプロトコル(規格)は現在存在しません。このことを喜んで良いのか悲しんで良いのかはわかりませんが、8ビットを標準規格とする現在のMIDIはクロックスピードさえ上げれば何ら問題はありせんので当面標準規格の座はゆるがないでしょう。一時話題になった32ビット規格のZIPIはその後話題にもあがりません。ですからこの「ブラウザを活用しよう」シリーズは新しいことが起こるまでしばらくお休みです。音楽関係の新しいMINEタイプもポチポチ現れますが、直ぐに淡雪のごとく消えて行きます。